



発行所
道前会

愛媛県西条市明屋敷 234
愛媛県立西条高校内
電話・FAX 0897-53-2192
saijodozen@yahoo.co.jp

弓道の「才能」

弓道部顧問 立井 万喜

今年もまた、春が来る。春になると、わくわくする。新入生が来るからである。今年はどうな「才能」と出会えるのだろうか。

私が本格的に弓道部の指導を始めたのは、前任校に赴任してからである。何も知らない新入生に、弓道を一から教える。自分でするのと人に教えるのは全く違う、と言うが、それは本当だった。何を教えていいのか、分からない。だが、ひとつだけ分かったのは、その射では中たらない、ということだけ。つまり、完成形を批判することはできるが、作っていくことはできなかったのである。私は、県内の知っている先生の所へ通った。試合の度に聞いた。そうして少しずつ、指導の形ができてはじめて。だが、結局、前任校で全国大会に団体で出場したのは、一回だけであった。

西条高校に赴任してからも、二年間は勝てなかった。だが、三年目、初めて女子団体が県総体を勝ち抜き、インターハイに出場した。その時の選手がそこまで強かったのか、というところなことはなかった。そのチームが初めて公式戦を戦った時には、地区予選で敗退し、県選抜大会には出ていない。ただ、女子個人で一人だけ、県大会に出場して勝ち全国大会に行った。彼女の存在は大きかった。彼

女は、同学年の中で一番遅く、弓道場に上がった人物である。同学年の部員たちが弓道場に入り、的に向かつて矢を飛ばしている間、彼女はずっと外で練習をしていた。その彼女が、個人で全国大会に行ったのである。個人で全国大会を経験した彼女は「次は団体で来たい。」と言った。そして、その通りのことをやってのけたのである。私は今まで、部員を指導する時に、どちらかというと厳しく叱つてばかりの指導をしてきた。しかし、この勝ち方を目の当たりにした時、「この子たちはすごい。」と思った。こちらが予想さえしないことをやってのける力を持っているのだと思った。

ちょうどその頃、国体の少年の監督を任されるようになり、研修に参加させていただくことが多くなった。ある時、メンタルトレーニング研究の第一人者である高妻容一先生の講演を聞かせていただいた。私の中で今でも残っているのは、「部員たちが自主的に居残り練習を始めた時が、夢を実現する始まりです。」「部員に、今日の練習は楽しかったな、また明日も練習したいな、と思わせる練習の終わり方をしなさい。」という言葉である。私は、自分の高校時代、大学時代、県総体で初めて優勝した部員たちのことを思い浮かべて、その通りだな、と納得した。そして、「試合に勝つ」という目標を指導者も部員も共通認識として持ち、そこに向かってお互いが努力を重ねていくというあり方



が、部活動の指導の仕方なのだと考えた。そして結局のところ、試合に勝てないのは、部員のせいではなく、指導者の不勉強にすぎないということだった。自分の力不足を棚に上げて、部員を叱ることはもうやめよう、と心に誓った。が、自分の気持ちを抑えるのはなかなか難しい。指導者としてはまだまだ、道半ばである。

弓道の「才能」は、「どんなにしんどくても頑張れる力」や「結果が出なくても腐らずに努力し続けられる忍耐力」、「他人の指摘に耳を傾けることができる素直さ」だと思う。また、新しいシーズンが始まる。新入生たちもやって来る。今年はどうな素晴らしい部員たちと出会えるだろうか。どれほどドキドキする試合ができるだろうか。

受賞の弁



道前会会長
真鍋 和年
(66回)

とても嬉しい報告です。皆様方の道前会が、この程、第12回キャリア教育優良団体表彰において文部科学大臣表彰を受賞しました。

これは、この間、道前会が母校の発展を願って「道前塾」の開催、「スタディツアー」の支援、またインターンシップにおける受け入れ事業所の開拓などに取り組んできたところ、キャリア教育の充実発展に貢献があったと認められて受賞の栄に浴したものです。

表彰式は、去る1月18日、国立オリンピック記念青少年総合センターで行われ、私と東海大学の十亀昭人先生が出席して表彰状を頂戴しました。受賞団体は、小・中・高校が97団体、教育委員会12団体、教育関係団体が10団体でしたが、同窓会組織では、我が道前会が唯一の受賞団体でした。

さて、この「キャリア教育」、私も、さほど意識していなかったのですが、若年層の二七〇万人、フリーター170万人、さらに七・五・三現象と言われ、中卒者の7割、高卒者の5割、大卒者の3割が就職して3年以内に離職している現実を前に、文科省が、学校教育と職業生活の円滑な接続のための重要な政策課題として位置づけていたものでした。

「望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識や技能を身につけさせると共に自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育てる教育」の必要性が中央教育審議会で議論されたのは、もう10年前のことです。今回の受賞は、こうした時代の政策的要請を踏まえ、この間の道前会の活動を「キャリア教育」への貢献として括り、推薦調書を上げてくださった佐伯校長先生を始め関係の先生方のご配慮があったれば

こそこのことで、感謝のほかにありません。また、道前塾の立ち上げに際し、二つ返事で、しかも手弁当でご出講くださった東京工業大学名誉教授の永井泰樹先生、東大の山路永司先生、物質・材料研究機構や宇宙航空研究開発機構へのスタディツアーをコーディネートくださった原田史先生、十亀昭人先生、そしてご理解とご支援を賜った多くの道前会員の皆様には、この紙面をお借りして衷心よりの感謝を申し上げます。そこで、改めて思うのですが、道前会には人材の宝庫であり、そこに限りなく多様な職業体験が蓄積されています。今後においては、文科省のお墨付きを励みに勉学、進学支援のみならず、この蓄積を生かして「キャリア教育」という問題意識を加え、さらに母校の支援に努めたいと考えておりますので、皆様には引き続きお力添えを賜りますようお願いを申し上げます。

結びに、会員の皆様のますますのご活躍・ご健勝を祈ります。

ごあいさつ



第36代校長
佐伯 幸治
(80回)

全国の道前会会員の皆様におかれましては、ますます御健勝にて御活躍のこととお喜び申し上げます。また、皆様には、平素から母校の教育活動に格別の御理解と御支援・御協力を賜っておりますこと、衷心より感謝申し上げます。

さて、非才浅学の私であります。皆様の御支援をいただきましたが、校長として3年目のスタートを切る事ができました。誠にありがとうございます。平成31年度、令和元年度の始まりに当たり、学校の様子など御報告させていただきます。

まずは、スーパーサイエンスハイスクール(SHS)事業についてです。昨年

度3月13日に一年目の研究成果報告会を開催いたしました。会の後で行われた運営指導委員会では、「取組一年目であるが、完成度が大変高い。教職員、生徒の相当な覚悟を感じた。学校全体で努力した成果である。」愛媛大学はもちろん、西条市、新居浜工業高等専門学校、愛媛県総合科学博物館等との連携が着実に進められていく。各種コンテストへの応募数、入賞者も増加しており、順調なスタートである。」等のお褒めの言葉を数多くいただきました。

また、SSHサイエンス・テクノロジーツアーでは、関東研修に御尽力いただきました、東京大学の山路永司先生、NIMSの原田史先生、松本明善先生、東海大学の十亀昭人先生、大学院生の白石誠さん、大学生の山内皓貴さん、真木沙弥香さん、関西研修、九州研修の交流会に参加していただいた大学生の森本航太さん、今井夢花さん、山之内美彩さんら多くの道前会の方々とのお陰で、大変充実した研修を行うことができました。さらに、イギリス・スタディーツアーでは、新たに立ち上げていただいた西条高校教育活性化支援会の旅費支援を受けることができた。充実した研修を受けることができました。支援会の村上俊行会長様、真鍋和年道前会長様、山名正英様、真鍋敏朗様、栗田肇様をはじめ、御奉仕を賜りました多くの皆様方にこの場をお借りして、厚くお礼申し上げます。

このような取組の成果もあって、昨年度は、大阪大学、愛媛大学医学部医学科、東京芸術大学など難関の大学に合格者を出すことができ、卒業生と指導した本校教職員の頑張りに拍手を送りたいと思います。特に、東京芸術大学には、2名の合格者を出すことができ、西条高校の教育における懐の深さを全国に示せたのではないかとうれしく思います。旧帝大の医学部、東大、京大の合格については、来年、再来年のおたのしみとさせていただきます。

部活動においても、弓道部女子が国体で3年連続優勝し、合唱部も全国大会に出場するなど、ますます活性化しています。新しい制服の検討も本格的に取り組み始めておりますので、今後とも御支援・御協力をよろしくお願いいたします。

進路状況

平成30年度(H31・3)卒業生

平成31年4月8日現在

進路状況(進学者)

年度	科 別	区 分 性 別	大 学					準大学	短 大			専門学校		家事 手伝等	就職	計
			国立大	公立大	国公立大計	私立大	計		国公立	私立	計	内 予備校				
平成30年度卒業生	普 通 科	男	19	5	24	49	73	0	0	2	2	6	2	2	4	87
		女	15	7	22	56	78	0	3	7	10	14	0	2	2	106
	国際文理科 (国際)	男	0	0	0	2	2	0	0	0	0	1	1	0	0	3
		女	7	2	9	3	12	0	0	0	0	0	0	0	0	12
	国際文理科 (理数)	男	8	0	8	0	8	0	0	0	0	2	2	0	0	10
		女	8	3	11	0	11	0	0	0	0	2	0	1	0	14
	商 業 科	男	0	0	0	7	7	0	0	0	0	0	0	0	2	9
合 計			58	18	76	125	201	0	3	10	13	35	5	5	16	270
既 卒 生	普 通 科	男	1	0	1	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
		女	1	0	1	3	4	0	0	1	1	1	0	0	0	6
	理 数 科	男	2	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
合 計			4	0	4	6	10	0	0	1	1	1	0	0	0	12
総 計			62	18	80	131	211	0	3	11	14	36	5	5	16	282

合格者数(延数)

年度	科 別	区 分 性 別	大 学					準大学	短 大			専門学校		家事 手伝等	就職	計
			国立大	公立大	国公立大計	私立大	計		国公立	私立	計	内 予備校				
平成30年度卒業生	普 通 科	男	19	5	24	131	155	0	0	2	2	7	2	2	5	171
		女	15	7	22	108	130	0	4	13	17	20	0	2	3	172
	国際文理科 (国際)	男	1	0	1	3	4	0	0	0	0	1	1	0	0	5
		女	7	3	10	14	24	0	0	0	0	0	0	0	0	24
	国際文理科 (理数)	男	9	0	9	5	14	0	0	0	0	2	2	0	0	16
		女	9	5	14	17	31	0	0	0	0	3	0	1	0	35
	商 業 科	男	0	0	0	7	7	0	0	0	0	0	0	0	2	9
合 計			61	21	82	294	376	0	4	20	24	43	5	5	19	467
既 卒 生	普 通 科	男	1	0	1	12	13	0	0	0	0	0	0	0	0	13
		女	1	0	1	6	7	0	0	2	2	1	0	0	0	10
	理 数 科	男	2	0	2	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
合 計			4	0	4	19	23	0	0	2	2	1	0	0	0	26
総 計			65	21	86	313	399	0	4	22	26	44	5	5	19	493

部活動状況

平成30年度の部活動加入率は全校生徒の91・4%で、多くの生徒が学業だけでなく部活動にも励み、有意義な高校生活を送っています。

全国大会には下記のとおり多くの部が出場しました。なかでも第73回国民体育大会(福井県)では、本校から参加した弓道部女子1名と監督の立井万喜教諭が、弓道競技少年女子近的で本県の3連覇となる優勝(遠的も優勝)をもたらす快挙を成し遂げました。

運動部では、県高校総体に201名が参加しました。主な結果は、弓道部が女子団体優勝、少林寺拳法(社会体育)が女子団体優勝、少林寺拳法(社会体育)が女子団体ベストハイに進出しました。四国高校総体においては、弓道部が女子団体ベスト8、少林寺拳法(社会体育)が女子組演武2位、水泳(社会体育)が女子800m自由形7位と健闘しました。全国高校総体では、弓道部が女子団体ベスト16の成績を挙げました。全国選抜大会には弓道部女子2名が出場しました。国民体育大会は前述の通りで、愛媛県選抜チームの一員として本校生徒が近的3連覇に貢献し、また遠的でも優勝しました。野球部は、夏の選手権大会では3回戦で松山商業高校と対戦し、惜しくも敗れ、秋季県大会では準々決勝で帝京第五高校に敗れました。

文化部では、県高文祭に121名が参加し、合唱部・美術部・地学部が平成31年度全国高文祭への出場権を獲得しました。特に、地学部は自然科学部門で優秀の成績を挙げました。今年の全国高文祭には、合唱部・美術部・書道部が出場しました。合唱部では、全国学校音楽コンクール全国コンクールに出場、優良賞を受賞しました。個人でも滝廉太郎記念全日本高等学校声楽コンクールに男子1名が出場しま

した。コンクール以外でも県総体開会式国歌独唱の重任を任せました。書道部は、4年連続で全国書道パフォーマンス甲子園に出場しました。地域・歴史研究部は、全国高等学校観光選手権で審査委員長特別賞を受賞しました。商業科の活動では、事務機械部が全国珠算・電卓競技会に出場、簿記部が全国高校簿記コンクールに出場、商業研究部が全国「商い」甲子園で準優勝となる高知県知事賞を受賞しました。部活動ではありますが、1年生女子がWE LOVE トンボ絵画コンクールで文部科学大臣賞を受賞しました。平成30年度においても多くの部活動・個人が全国大会等で活躍する一年になり、より充実した活動が行われました。

なお、昨年度も全国大会に出場するに当たり、道前会よりその都度御芳志を賜りました。誠にありがとうございます。また、道前会にも協賛していただきました恒例の芸術文化発表会も、例年同様8月13日に西条市総合文化会館で美術部・書道部・マルチアート部が展示発表、ダンス部・日本音楽部・合唱部・吹奏楽部がステージ発表をしました。多くの方々に来場していただき、感動のうちに22回目を終えることができました。部員たちはこの発表会を励みに練習に打ち込んでいます。次回も8月13日(火)に実施する予定です。御観覧いただき、励ましをいただければ幸いです。

平成30年度から始まったスーパーサイエンスハイスクール(SHS)事業の取組も平成31年度には本格的な活動になります。生徒たちは部活動とともに課題研究にも積極的に取り組んでいくこととなります。校訓の文武両道を目指し、ハードワークな一年になりますが、充実した高校生活になるように取り組ませていきたいと思えます。道前会の皆様におかれましては、今後とも暖かいご声援をいただきますようお願い申し上げます。

全国大会出場者

【体育部等】

◎全国高等学校総合体育大会		
弓道部	女子団体ベスト16	6名
少林寺拳法	女子組演武	2名
◎国民体育大会		
弓道部	愛媛県少年女子選抜	
	近的(優勝)	1名
	遠的(優勝)	3年連続
少年女子		
遠的(優勝)	1名	監督本校教諭
◎全国選抜大会		
弓道部	女子個人	2名

【文化部等】

◎全国高等学校総合文化祭		
美術部	美術工芸部門	2名
合唱部	合唱部門	35名
書道部	書道部門	1名
地学部	愛媛県高等学校総合文化祭	
	自然科学部門	優秀
◎全国書道パフォーマンス甲子園		
(四国ブロック代表)		
書道部		8名
◎NHK全国学校音楽コンクール全国コンクール		
高等学校の部	優良賞	35名
合唱部		
◎滝廉太郎記念全日本高等学校声楽コンクール		
		1名
◎WE LOVE トンボ 絵画コンクール		
	文部科学大臣賞	1名
◎全国高等学校観光選手権大会		
		7名
◎全国高等学校簿記コンクール		
		5名
◎簿記部		
		3名
◎全国珠算・電卓競技会		
		9名
◎全国「商い」甲子園		
		9名
◎商業研究部(高知県知事賞 準優勝)		
【定時制】		
◎全国高等学校定時制通信制体育大会		
卓球部	個人	1名
陸上競技部	走幅跳	1名

新たに二百八十名の新入生を迎えて、平成三十一年度が始まりまして。文部科学省よりスーパーサイエンスハイスクール(SHS)の指定を受けて二年目、全教職員一丸となって生徒の主体的学習意欲の向上と科学的素養の育成に取り組んでいるところです。

さて、今春の進学状況ですが、国立大学の合格延べ数は八十六名(既卒生四名を含む)でした。三年学年団を中心に、粘り強く生徒の進路実現に努めた成果であると考えています。内容においては、大阪大学(一名)、愛媛大学(一名)の難関大学に合格しております。また、岡山大学(三名)、広島大学(一名)、愛媛大学(二十名)合格となっております。国立大学合格者数のうち推薦・AO入試で合格した生徒は四十七名(センター利用なし三十一名、センター利用あり十六名)で、全体の約半数を占めます。私立大学においては、明治大学、立教大学(二)、中央大学(二)、関西大学(二)、関西学院大学(八)、同志社大学(二)、立命館大学(二)、松山大学(五十五)など合計三百十三名が合格しました。商業科においても、国立大学二名合格をはじめ、私立大学十六名、私立短大五名、専門学校十名合格、うち二十八名が進学しました。就職では、全体で十六名が就職し、事務職六名と健闘しました。公務員試験においても、愛媛県事務職に一名、愛媛県警察官に三名、西条市役所(事務)に二名、西条市役所(消防)に一名合格しています。

今年度の大学入試センター試験では、志願者数五十七万六千八百三十人(昨年比一・八%減)、受験者数は五十四万六千九百九十八人(昨年比一・四%減)といずれも昨年に比べ減少しましたが、国立百六十七大学の一般選抜では募集人員十四万四千二百六十六人に對し、四十六万九千八百三十六名が志願し、平均四・七倍(前期三・二倍、中期

進路課長 榎田 孝寛

十三・七倍、(後期十倍)と昨年度を上回るなど、国立大学進学希望者が全国的にも多いのが実情です。また、難関大学や医学科においても後期日程の廃止・縮小が続く、推薦・AO入試でより意欲の高い学生を確保する傾向が一層強まっております。東京大学、京都大学なども推薦入試や特色入試が実施されています。従来と比べ入試日程が早まるのと同時に制度が多様化しており、一人一人の個性を見極め、早めに個々の実態に応じたきめ細かな指導を行うことで、生徒の希望進路を実現していきたいと考えています。

「平成」に始まった「センター試験」に変わる「大学入学共通テスト」が、高二生から実施される予定であり、「令和」の元号だけでなく大学入試も変革期を迎えています。思考力・判断力・表現力を重視した入試改革に対応できるよう、本校でも地域のアクティブ・ラーニング拠点校として、課題の発見・解決に向けた主体的・協働的な学びに重点を置いた授業改善に取り組んでいます。今年度からSSH事業の一環として、新二年生全生徒を対象とした課題研究も始まります。基礎学力の向上はもちろんのこと、深い思考力を身に付けた次世代を担う人材育成を目指したいと考えています。また、昨年度より年間十回、一年生全員を対象に、オンライン英会話を実施しております。新二年生も継続して取り組み、実用英語英検等外部資格検定試験取得にも力を入れています。今後とも母校の進路指導に御理解をいただき、後輩たちへの温かい御指導・御支援を賜りますようお願い申し上げます。



定時制創立70周年

平成三十年度、西条高校の定時制教育は七十周年の節目を迎えました。そのことを記念し、本校定時制御出身の児童文学作家大西傳一郎先生に御講演をしていただきました。『探究無限』というお言葉は、生徒たちの心に響き、逆境をチャンスに変えて前進していく先生の生き様を継承してくれるものと確信しています。



『講演会』 大西傳一郎先生

また、今年度は、新学校行事「風揚げ大会」を企画・実施しました。地元手すき和紙と竹ひごを使用し、地域の方々と協力することによって、生徒たちは社会に支えられていることを知り、達成感・有用感を味わうことができたようです。



『風揚げ大会』優勝旗



『風揚げ大会』教育振興会会長挨拶



『風揚げ大会』道前会会長開始宣言



『運動会』対全日制教員

全日制ではない、もうひとつの西条高校の生徒たち（全校生徒四十三名）も頑張っております。どうか、彼らの活動にも注目して、温かく見守ってやってください。

平成三十一年二月

商業科が今熱い!!

Love in Saijo Project

～地域を創る人間力を持った人材の育成～

西条市は、少子高齢化に伴い労働力減少や都会志向による人口流出など多くの課題を抱えています。そこで本校商業科では、西条市や地域産業の各団体と連携し、地域活性化に貢献する人材を育成することを目標に様々な活動を実施しています。特に、3年生の「課題研究」の授業を通して、各班に分かれ地域課題に取り組んでいることをご紹介いたします。

一、ゆるキャラによる地域交流の推進と伝統ある「石鎚黒茶」の継承
昨年、「うちぬき うおたん」を本格的な着ぐるみとして完成させ、市内の保育園や高齢者施設、各種イベントに参加し、歌や踊りで地域の皆さんとの交流を深めています。また、幻になりつつある日本四大発酵茶の一つ「石鎚黒茶」を継承するため、市内・県内・県外等での様々な情報発信や広報活動に取り組んでいます。具体的には、農業支援団体との関係を密にし、収穫の体験やイベントごとに試飲を行い、「石鎚黒茶」のPRや自分達で考案したパッケージでの販売促進などを実施しています。また、「石鎚黒茶」を使ったマドレーヌやクッキーなどのスイーツを試作する取組も行っています。

二、「輝安KOU房活動中」

～市之川産輝安鉱の新しい価値の創造～

かつて国内最大級の輝安鉱鉱山であった「市之川鉱山」。市之川で採掘された輝安鉱は「世界一の輝き」と称賛されたが、昭和三十三年の閉山後は、地域住民に忘れられた存在となっています。そこで、

市之川鉱山跡や輝安鉱を、地域産業遺産として確立する活動を実践しています。輝安鉱の学習や市之川地域でのフィールドワークを通して、地域資源を再確認し、本校生徒や地域住民への認知度を高めるための新しい手段として、輝安鉱の結晶を使った「アクセサリーづくり」に取り組んでいます。校内での輝安鉱の認知度は、八割を超える成果を得ました。さらに大分大学主催の「高校生なるほどアイデアコンテスト2018」に応募し、大分県教育長賞を受賞しました。今後は、新商品の開発などを通して、輝安鉱のさらなる魅力を伝える活動に取り組んでいます。



五百亀記念館にてアクセサリー作り体験の実施

三、西条名産「西条産海苔」と「絹かわなす」を探る

地域農産物である「絹かわなす」や「西条産海苔（ウスバアオノリ）」の認知度を高めていく活動やさらなるレシピ開発に取り組んでいます。栽培農家への取材やJA西条、愛媛県地域政策課等の協力を得て、付加価値を高めるための方法について研究し、地域ブランドの価値を確立するための一助となる取り組みをしています。



西条産海苔の生産者の方へ「黒ばら海苔」の生産工程を取材

「きしめしコンテスト」に応募し、米粉と西条産の海苔を使った「たい焼き」を出品し、最優秀賞を受賞しました。また、地域農産物としての良さをSNSを通じて発信する活動をしました。これからもSNSにより、西条産の魅力を全国に発信し続けたいと考えています。

四、「地域ポイント」による「地域を思う価値」の流通の実証実験

地域ポイント（ウオータン）を活用することによって、これからの時代のまちづくりへの可能性を検証しています。様々な支援団体に協力いただいて、昨年度より取り組んでいます。地域ポイントとは、市や保育園のイベントに参加すれば、ポイントが付与され、たまったポイントは提携している商店で使用することができるといった仕組みです。この活動は、新しい流通の仕組みとして、新聞やニュースでも取り上げられ、昨年度の実証実験を踏まえ、さらに多くの取引先への協力依頼をし、商店街や地域活性化に取り組みたいと考えています。

商業科では、以上のような活動を通して、地元愛・郷土愛を醸成し、「感動体験」や「感動する心」などの人間力を高め、積み重ねていくことを目的としています。今年度、商業科が企画しているイベントとして、東予東部圏域振興イベント「えひめさんさん物語」のチャレンジプログラム、「お堀プロジェクト（ウオーターバルーンでお堀を散歩）」を計画しています。西条高校のお堀に県内外から多くの参加者が集うことでしよう。西条高校の魅力を発信できたらと考えていますので、ご協力よろしく願っています。

平成30年度一般会計決算報告書

平成30年 4 月 1 日～平成31年 3 月31日 単位 円

収 入				
科 目	予算額	収入額	増 減	摘 要
前期繰越金	2,083,302	2,083,302	0	
会 費	4,000,000	3,464,000	△ 536,000	平成30年度分1,732 件
入 会 金	2,747,700	2,717,000	△ 30,700	全日制 820名 定時制 11名
手 数 料	13,500	0	△ 13,500	
広 告 料	240,000	360,000	120,000	会報12件
雑 収 入	50,498	100,022	49,524	西条市役所道前会、武智晴子理事、利息等
合 計	9,135,000	8,724,324	△ 410,676	
支 出				
科 目	予算額	支出額	増 減	摘 要
総 務 費	700,000	478,448	221,552	振込手数料(199,882) 伊予銀行残高証明(432) 支部総会祝金(90,000) 他
需 用 費	150,000	89,964	60,036	プリンターインク(32,074) 電気代(37,526) 他
通 信 費	200,000	138,083	61,917	電話・インターネット(95,978) 郵送料(42,105)
旅 費	300,000	286,960	13,040	支部総会出席
人 件 費	1,700,000	1,545,000	155,000	給料(840,000) 賃金(705,000)
事 業 費	3,800,000	3,737,426	62,574	会報(2,672,624) 支部補助(452,452) 全国補助(160,000) 卒業記念品(334,790) 卒業50年案内(28,632) 他
会 議 費	150,000	76,232	73,768	評議員会(52,892) 理事会(23,340)
総 会 費	0	0	0	
予 備 費	2,135,000		2,135,000	
合 計	9,135,000	6,352,113	2,782,887	

収支差引額 収入額 8,724,324 - 支出額 6,352,113 = 繰越額 2,372,211

平成31(令和元)年度一般会計収支予算書

平成31年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月31日 単位 円

収 入				
科 目	予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
前期繰越金	2,372,211	2,083,302	288,909	
会 費	3,800,000	4,000,000	△ 200,000	2019年度分
入 会 金	2,757,900	2,747,700	10,200	全日制@3,300×830人 定時制 7 名
手 数 料	23,500	13,500	10,000	名簿等
広 告 料	360,000	240,000	120,000	会報広告料 @30,000×12
雑 収 入	50,389	50,498	△ 109	預金利息、寄附金等
合 計	9,364,000	9,135,000	229,000	
支 出				
科 目	予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
総 務 費	600,000	700,000	△ 100,000	振込手数料(200,000) 支部総会祝金(90,000) 他
需 用 費	100,000	150,000	△ 50,000	電気代、複写機使用料、プリンターインク
通 信 費	150,000	200,000	△ 50,000	電話料、郵送料
旅 費	250,000	300,000	△ 50,000	支部総会出席 2 名
人 件 費	1,700,000	1,700,000	0	給料、賃金
事 業 費	3,800,000	3,800,000	0	会報発行(2,600,000) 支部補助(450,000) 全国大会等補助(200,000) 卒業記念品代(350,000) 卒業50年案内 他
会 議 費	100,000	150,000	△ 50,000	評議員会、理事会
総 会 費	300,000	0	300,000	
予 備 費	2,364,000	2,135,000	229,000	
合 計	9,364,000	9,135,000	229,000	

平成31(令和元)年度事業計画書

- ◎会報の発行(第27号は2019年6月1日発行予定)

◎道前塾・移動道前塾の開催
(開催日時・講師は未定)

◎支部活動への助成

◎同期会開催等への支援・協力
(資料作成・卒業50年目の卒業式への案内等)

◎卒業生へ記念品の贈呈
(卒業証書ファイル・道前賞)
- ◎新入生へ絵葉書の贈呈

◎生徒の全国大会出場へのお祝い
(高体連・高野連・高文連主催)

◎文化祭における在校生への啓発活動
(道前会コーナーの開設)

◎文化発表会の助成

平成30年度積立金会計決算報告書

平成30年 4 月 1 日～平成31年 3 月31日

前期繰越額	4,000,000	(任意積立金 4,000,000)
当期積立額	0	
当期取崩額	0	
次期繰越額	4,000,000	

平成30年度全国大会出場祝基金会計決算報告書

平成30年 4 月 1 日～平成31年 3 月31日

前期繰越額	1,155,851
当期積立額	0
当期取崩額	140,432
受 取 利 息	10
次期繰越額	1,015,429

平成30年度末財産目録

平成31年 3 月31日 単位 円

預 金	
東予信用金庫普通預金	5,912,964
愛媛銀行普通預金	1,015,429
㈱ゆうちょ銀行振替口座	456,201
伊予銀行普通預金	3,046
資産合計	7,387,640 内
任意積立金	4,000,000
全国大会出場基金	1,015,429
一般会計繰越金	2,372,211

監査報告書

適正な会計処理・報告がなされていると認めます。

平成31年 4 月11日

会計監査 徳増 達史
会計監査 秦 敏明
会計監査 阿 蘇 竜子

平成30年度 年間行事

平成30年

- 4 月 9 日(月) 平成30年度入学式
- 4 月 9 日(月) 平成29年度会計監査
- 4 月 25 日(水) 評議員会
- 5 月 27 日(日) 東京道前会総会
- 6 月 3 日(日) 東海道前会総会
- 6 月 16 日(土) 岡山道前会総会
- 6 月 20 日(水) 理事会
- 6 月 30 日(土) 近畿道前会総会
- 7 月 18 日(水) 理事会
- 8 月 13 日(月) 芸術文化発表会
- 9 月 5 日(水) 運動会
- 9 月 12 日(水) 理事会
- 9 月 26 日(水) 文化祭準備(午後)
- 9 月 27 日(木) 文化祭
- 9 月 27 日(木) 第 4 回道前塾(佐竹 恭介先生)
- 10 月 4 日(木) 第 5 回道前塾(中西 純子先生)
- 10 月 10 日(水) 理事会
- 10 月 21 日(日) 広島道前会総会
- 10 月 25 日(木) 第 6 回道前塾(寺尾 浩司先生)
- 10 月 27 日(土) 松山道前会総会
- 11 月 21 日(水) 理事会
- 12 月 19 日(水) 理事会

平成31年

- 1 月 18 日(金) 文部科学大臣表彰式(キャリア教育優秀表彰)
- 1 月 24 日(木) 理事・評議員会(新年会)
- 2 月 20 日(水) 理事会
- 2 月 22 日(金) 市役所道前会総会
- 2 月 28 日(木) 卒業式予行・道前会入会式
- 3 月 1 日(金) 平成30年度卒業式(第119回)
- 3 月 22 日(金) 理事会
- 3 月 29 日(金) 第 7 回道前塾(青野 正明先生)

見て、ふれて、飲んで! できたての「うまさ」を実感!

アサヒビール四国工場へ
お越しください!



試飲で
うまさ
実感!

工場見学のご案内 [見学無料] 要予約

アサヒビール四国工場 / 愛媛県西条市ひうち2番地6

TEL.0897-53-7770

お電話受付時間 9:00~17:00
※休業日を除く

【ご注意】◎工場見学は予約制です。お手数ですが、必ずお電話などでご予約ください。電話番号はおかけ間違いのないようお願いいたします。◎工場見学、試飲は無料です。(ビールの試飲は20分間、お1人様3杯までとなります。)*◎お車・バイクを運転の方、自転車でご来場の方、20歳未満の方、妊娠中や授乳期の方はビールの試飲ができません。ソフトドリンクをご用意しております。

【ビール】ストップ! 20歳未満飲酒・飲酒運転。妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に悪影響を与えるおそれがあります。ほどよく、楽しく、いいお酒。のんだあとはリサイクル。 **すべては、お客さまの「うまい!」のために。アサヒビール株式会社**